

(2) 展開

【第5学年】

【第6学年】

教師の具体的な働きかけ ・指導・支援【観点】 ○評価	主な学習活動 (第5学年)	過程	位置時間	過程	主な学習活動 (第6学年)	教師の具体的な働きかけ ・指導・支援【観点】 ○評価
<ul style="list-style-type: none"> 既習事項を想起させ、白神山地についての意識を高めさせる。(児童が書いた短冊を掲示しながら振り返る。)【視】 	1 前時の学習活動を振り返る。	ふりかえる	2	ふりかえる	1 前時のふりかえりをする。 ・ワークシートに従って記入する。【構】	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の問いかけ「永遠に理解し合えないのだろうか」を想起させる。【視】
	2 本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> どのようにして、白神山地を守ればいいのか。 </div> 【第一発問】 ☆白神山地を守るためには、どのような方法があるのでしょうか？	つかむ	3			
<ul style="list-style-type: none"> 文章全体の構成に着目させる。 打ち出したプリント、資料1、資料2を印刷して配布する。 	3 教科書 P18.19 を打ち出したプリントを音読する。 ・段落ごとに読み合わせをする。 ・資料1、資料2がどの文章と関わりがあるのか意識して読む。		同時間接		2 本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 筆者の意見に対する自分の考えを書こう。 </div> 3 第3段落を読む。	<ul style="list-style-type: none"> 小段落ごとに読ませる。
<ul style="list-style-type: none"> 考え方については教材の文章に書かれていることから見つけさせる。【焦】 メリットとデメリットについては、文章の中から見つけるだけでなく、考えられることも書き加えてよいこととする。 ○「核心地域」と「緩衝地域」の役割をまとめようとしている。 教科書に書かれている部分と照らし合わせながら行う。 メリットとデメリットを考え合わせながら立場を決めさせる。 理由もあわせて考えさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> 人を入れて守る立場 人が直接自然に接することによって、人の手が加わっていない自然の素晴らしさがわかる。 人を入れないで守る立場 人を入れると自然を汚したり、壊したりする恐れがあるので、人の手を加えず、自然の推移にゆだねる方がよい。 </div>	4 「核心地域」と「緩衝地域」の自然保護の考え方をワークシートにまとめる。【構】 ・教材文で、「核心地域」(青色)、「緩衝地域」(赤色)について書かれた文章の範囲を囲む。 ・「核心地域」と「緩衝地域」の考え方、メリットとデメリットについてまとめる。 5 「核心地域」と「緩衝地域」の考え方について分かったことを発表する。 6 自分の立場をはっきりさせ意見をまとめる。 【第二発問】 ☆あなたは、人を入れて守りますか？人を入れないで守りますか？ ・ワークシートに記入する。【構】 ・考えがまとまったら理由を短冊に記入する。	やってみる	7 4 3 5 6 9	やってみる	4 「言葉のキャッチボール」について筆者の意見を読み取る。 【第一発問】 ☆言葉のキャッチボールとは、どのようなことか？ ・教科書で筆者の考えが書かれている部分に線を引く。【視】 ・「言葉のキャッチボール」について筆者の考えをワークシートに記入する。 5 「言葉のキャッチボール」についてわかったことを発表する。 6 「言葉のキャッチボール」について自分の経験や考えをワークシートに書く。 【第二発問】 ☆自分にも共感しあえた経験、違いがわかってよかった経験はないだろうか？ ・自分の経験や考えをワークシートに書く。 ・共感し合えた例 ・お互いの違いがわかってよかった例 【構】 7 まとめたことを発表し、わかったことを共有する。 ・全体で発表しあう。	<ul style="list-style-type: none"> 事例や考えを区別するために、文末表現や文章構成を手掛かりにさせ、筆者の考えを捉えさせる。【焦】 「例えば」…例示 「～としよう」…例示 「これは～」…考え 「～のである」「～なのだ」…考え 「はじめ・中・終わり」の文章構成 まとめの文章はどこにあるか。 ○意見と事例を区別しながら、筆者の意見を読み取ることができる。 「共感し合えた例」「お互いの違いがわかってよかった例」の観点に従って、自分の経験を書かせる。 「人と人が理解し合う」とは、どういうことなのか自分の考えも書かせる。 批判的な意見も認める。 ○筆者の意見に対する自分の考えを書くことができる。 「人と人が理解し合う」とは、どういうことなのかを理解させる。 友達の話をも自分の意見との共通点や相違点を意識しながら聞くようにさせる。【共】 ○「言葉のキャッチボール」の経験を通して、自分の意見を伝えることができる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 筆者の考え 《言葉のキャッチボール》 言葉・表情・仕草のやりとり⇒共感したり、違いがわかったりする。 自分と相手との間で、心を伝えたり、受け取ったりしている。 </div>
<ul style="list-style-type: none"> 発表の根拠を明確に持たせる。 友達の発表をしっかりと聞かせる。【共】(友達の考えを言い直させるなど) ○自分の立場を決め、根拠をもって発表することができる。 	7 まとめたことを発表し、わかったことを共有する。	まとめる	5	ふりかえる	9 本時で学習した第3段落を音読する。 10 本時のふりかえりをする。	<ul style="list-style-type: none"> 次時は筆者の意見と自分の考えをまとめることを知らせる。 自分のペースで音読させる。 ワークシートに記入させる。 ふりかえりを発表させる。
<ul style="list-style-type: none"> 自分のペースで音読させる。 ワークシートに記入させる。 	8 本時で学習した P18.19 を音読する。 9 本時のふりかえりをする	ふりかえる	同時間接 3			

(3) 本時の評価

- 自然保護についての自分の立場を決め、根拠を発表することができたか。
- 白神山地の自然保護の特徴を読み取り、「核心地域」と「緩衝地域」の役割をまとめることができたか。

- 筆者の意見に対する自分の考えを進んで書くことができたか。
- 意見と事例を区別しながら、筆者の意見を読み取ることができたか。

(4) 板書計画

短冊

短冊

短冊

短冊

○あなたは、人を入れて守りますか。人を入れないで守りますか。

《人を入れる立場》 《人を入れない立場》

悪い面	良い面

緩衝地域
一般の人でも自由に入ることができる。

悪い面	良い面

核心地域
人の手を加えず自然の推移にゆだねること。

どのようなにして、白神山地を守ればいいのか

筆者の意見に対する自分の考えを書こう。

形式段落⑬ 【問い】

人と人は、永遠に理解し合えないのか。

はじめ【答え（立場）】頭括型

形式段落⑭

そうではないと思う。

中 【事例】

形式段落⑮⑯⑰⑱

アニメの例

（自分）
言葉・表情・仕草

言葉のキャッチボール

（友達）

共感
違いがわかる

終わり【筆者の意見（まとめ）】

形式段落⑲

「言葉のキャッチボール」とは、言葉や表情をやりとりすることによって、心を伝えたり、受け取ったりすることである。

筆者の意見に対する自分の考えを書こう。